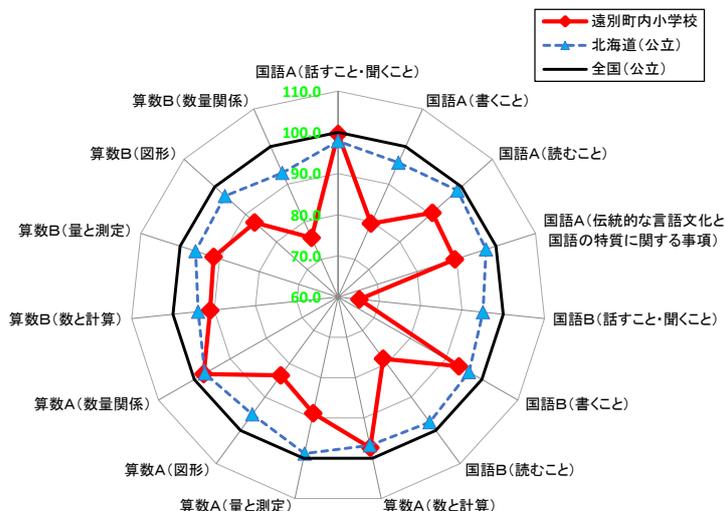


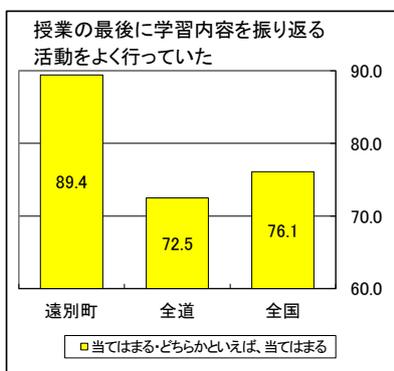
# ■遠別町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:19名)

## 【教科全体の状況】

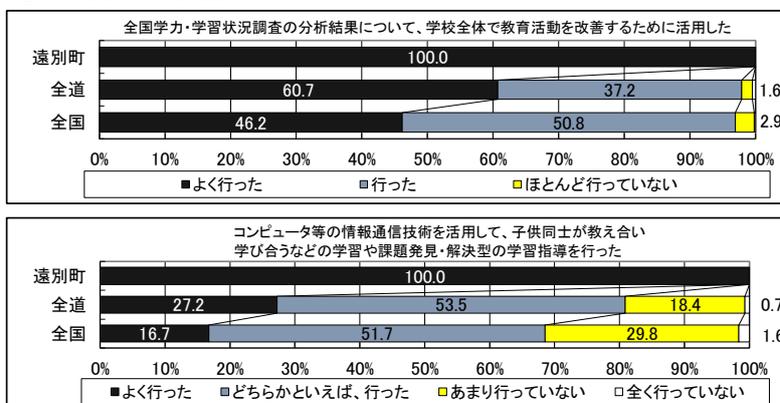
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で、全道を上回っている。</li> <li>○ 国語Bでは、「書くこと」で、全国とほぼ同様になっている。</li> <li>○ 算数Aでは、「数と計算」「数量関係」で、全道を上回っている。</li> <li>○ 算数Bでは、「数と計算」で、全道とほぼ同様になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校が全国学力・学習状況調査の分析結果を踏まえて、学校全体で教育活動を改善したことにより、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行う児童が増え、学力の向上につながったと考えられる。</li> <li>○ 学校がコンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習や課題発見・解決型の学習指導を行ったことにより、国語及び算数の3つの領域で全道を上回るにつながったと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国学力・学習状況調査の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するためによく活用した。</li> <li>○ コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習や課題発見・解決型の学習指導をよく行った。</li> </ul>	

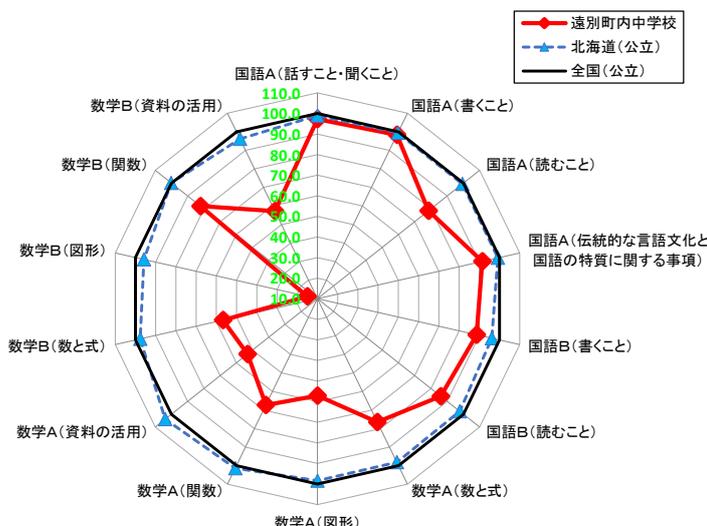
## 【遠別町の学力向上策】

- ◎ ICT機器の活用やデジタル教科書の導入による児童の学習意欲を高める授業の工夫
- ◎ 放課後や長期休業中の補足的な学習サポートの実施
- ◎ 学習規律の統一など、小中連携した学力向上の取組の推進
- ◎ 家庭学習の定着、充実に向けた家庭との連携の推進

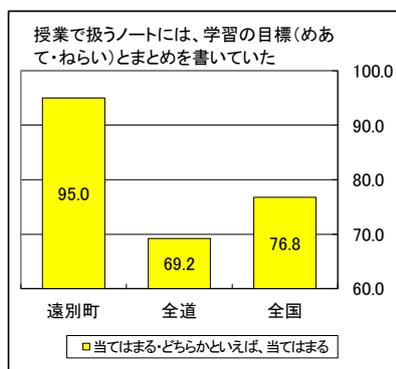
# 遠別町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:20名)

## 【教科全体の状況】

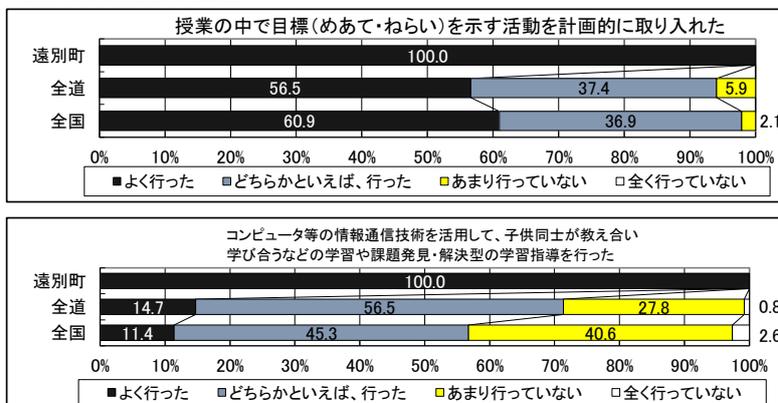
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で、全国とほぼ同様になっている。	○ 学校が授業の中で目標(めあて・ねらい)を生徒に示す活動の充実を図ったことにより、学習の目標やまとめをノートに書く生徒が増え、国語では2つの領域で全道とほぼ同様になるなど、学力の向上につながったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れてよく行った。 ○ コンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習や課題発見・解決型の学習指導をよく行った。	○ 学校がコンピュータ等の情報通信技術を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習や課題発見・解決型の学習指導を行ったことにより、国語の2つの領域で全道とほぼ同様となったことにつながったと考えられる。

## 【遠別町の学力向上策】

- ◎ ICT機器の活用やデジタル教科書の導入による児童の学習意欲を高める授業の工夫
- ◎ 放課後や長期休業中の補足的な学習サポートの実施
- ◎ 学習規律の統一など、小中連携した学力向上の取組の推進
- ◎ 家庭学習の定着、充実に向けた家庭との連携の推進